

特42

879

日本軍記

保元平治ノ乱  
頼朝伊豆國ニ  
兵ヲ率テ石橋  
山富五川合戦ニ  
仲起シ終ル  
松延堂新刻



甲



右大将源頼朝

○右兵衛尉頼朝者、徳川豆粥、  
 蝦夷島を討つるに、  
 救済の戦争に、  
 及び、  
 春、  
 將軍、  
 相州鎌倉に居る。



よみ、  
 抑我國の武を以て、  
 源平藤原の、  
 補佐とある、  
 天皇、  
 の、  
 一、  
 源朝の

右大将源頼朝

次へ



右大将源頼朝



よみこめ 抑我國の武を以て百姓を治め  
 あり源平藤三橘の四姓を以て百姓を治め  
 補佐とあるはあつて人皇太子六代は  
 天皇太子の皇太子はすすむは親王  
 のはみ孫基王はすすむは源の此を極め  
 一ありそのは源仲あつたは親王  
 源朝の

右大将源頼朝



院の信濃  
及の信方  
年保元  
私に討つ所  
小平の法盛  
の拒武天  
自平才五の  
皇考の葛  
為殿と  
九代  
後継  
俊吉△

△  
石  
の孫  
子と  
西の  
向  
家  
の  
婿男  
ありき  
△  
○

とて安  
養をいへり  
養のふたふ  
義親と申す  
るを学んば  
保元平治の  
保元平治  
保元平治の  
元のれふた  
ふるを御  
あつたお  
自平才五  
盛考とら  
△  
○



○  
平相国清盛  
あふりぬ

○  
武成盛なり  
家の

○  
功



つぎ 平家 源氏  
 目くばり 源氏  
 次子 平家 源氏  
 八郎 為朝

源氏一統の  
 天下を治るるに  
 其の源氏もふしは平家  
 源氏一統の  
 天下を治るるに  
 其の源氏もふしは平家

合衆  
 二女  
 の娘  
 八平  
 の后



の船さちすのくに  
 及びが  
 源氏一統の  
 天下を治るるに  
 其の源氏もふしは平家



源氏一統の  
 天下を治るるに  
 其の源氏もふしは平家





つぎをては決せらるる也  
 左の御所の御を侍  
 て御更替の御を侍  
 御更替の御を侍  
 御更替の御を侍  
 御更替の御を侍  
 御更替の御を侍  
 御更替の御を侍  
 御更替の御を侍  
 御更替の御を侍  
 御更替の御を侍



○十七日通ふ八時  
 八時判官兼隆友

八時判官  
 兼隆友

中樂  
 時政を  
 形をか  
 をせし

が時政は女御の方  
 をてて今奉返る年  
 名をの御より今名を御  
 累代源氏御つそ  
 のを御つそ  
 り同年八月○



八時判官





水鳥  
 二平軍  
 富士川  
 汝ス



大福系  
 田  
 保  
 鳥  
 水鳥  
 二平軍  
 富士川  
 汝ス

大福系  
 田  
 保  
 鳥



朽木の  
次へ  
虎を  
殺す  
土佐の  
長  
を  
殺す  
虎  
を  
殺す



朽木  
の  
次へ  
虎を  
殺す  
土佐の  
長  
を  
殺す  
虎  
を  
殺す

○内子と云ふ大協伊本城  
ありて  
の朽木の内と  
いふり甘んさ  
くせんを  
を橋系系  
附巴  
の  
ありて



天運の

※天運の

天運の  
天運の  
天運の

天運の



天運の

天運の

天運の

天運の

天運の

天運の

天運の

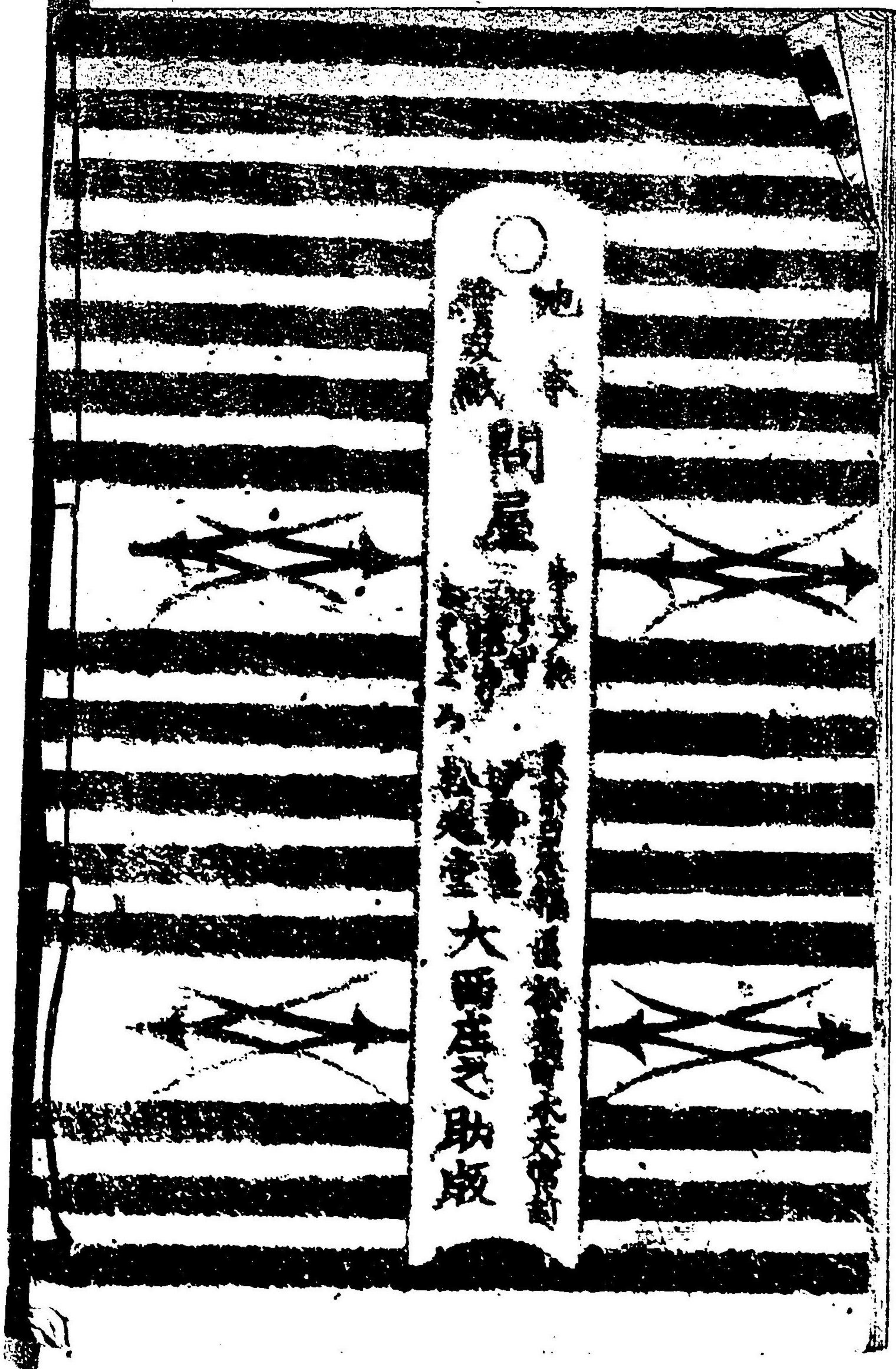




つぎに...

● 梅成  
 春に...

<p>大日本...</p>	<p>...</p>	<p>梅成田政画</p>
<p>...</p>	<p>...</p>	<p>春亭火彦湖</p>
<p>...</p>	<p>...</p>	<p>梅成田政画</p>
<p>...</p>	<p>...</p>	<p>...</p>
<p>...</p>	<p>...</p>	<p>...</p>



地

問

大

助  
版

